

連続講座

「なぜ松本で普通選挙運動がおきたのか」

今から100年前、大正14年(1925)に普通選挙法が成立し、25歳以上すべての男子に衆議院の選挙権が与えられました。

それに先立つこと28年、明治30年(1897)に全国に先駆けて松本で普通選挙運動が始まりました。その運動の中心になって尽力したのが中村太八郎(現山形村出身)と木下尚江(現松本市出身)です。当時の人々の普通選挙に対する思いを学び、その意義を考える連続講座です。

第一回「なぜ松本で普通選挙運動がおきたのか」

第二回「中村太八郎と木下尚江の活躍」

申込：終了

第三回「降旗元太郎と中村太八郎、木下尚江の小説」

講師：桜井 政男 氏(今井公民館 文化委員)

日時：令和七年六月一五日(日) 午前十時～正午

場所：松本市立博物館 講堂

申込：六月一三日(金)までに

申込フォームから



第3回講演会
申込QRコード

第四回講演会「木下尚江の小説と社会運動からの離脱」

講師：桜井 政男 氏(今井公民館 文化委員)

日時：令和七年七月一三日(日) 午前十時～正午

場所：松本市立博物館 講堂

申込：七月一日(金)までに

申込フォームから



第4回講演会
申込QRコード

第五回以降も予定しています。

詳細は決定し次第、広報まつもとや、ホームページ等でお知らせいたします。

※どの回も単独での参加が可能ですので、興味のある回にご参加ください。



普選100年、歴史に学ぶ

— 松本は普通選挙運動発祥の地 —

【お問い合わせ】

松本市立博物館

〒390-0874 松本市大手3-2-21

代表TEL:0263-32-0133 / 代表FAX:0263-32-8974

E-mail:mcmuse@city.matsumoto.lg.jp ホームページ:http://matsu-haku.com/